

2014年7月11日

各 位

JXホールディングス株式会社

第45回JX-ENEOS童話賞の作品募集結果について

当社(東京都千代田区大手町二丁目、社長:松下 功夫)は、第45回JX-ENEOS童話賞の作品を募集した結果、11,370編のご応募をいただきましたので、お知らせいたします。

一般の部	9,586編
中学生の部	777編
小学生以下の部	1,007編
計	11,370編

JXグループでは、毎年、「心のふれあい」をテーマに一般の方々からオリジナルの創作童話を募集し、「JX-ENEOS童話賞」として優秀作品を表彰しています。

今回ご応募いただいた作品の内訳は、年齢では4歳から99歳と幅広く、地域も国内にとどまらず、オーストラリア、カナダ、中国、デンマーク、フランス、ドイツ、マレーシア、メキシコ、イギリス、アメリカ、ベトナムの海外在留邦人の方からも作品が寄せられました。

選考にあたっては、西本鶏介先生(児童文学者)、立原えりか先生(童話作家)、角野栄子先生(童話作家)、中井貴恵先生(女優・エッセイスト)、宮西達也先生(絵本作家)、薫くみこ先生(児童文学作家)によって構成されるJX-ENEOS童話賞選考委員会により、厳正かつ慎重な審査が行われます。

選考結果の発表は10月中旬を予定しています。また、各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作に入選された作品については、11月下旬に一冊の童話集「童話の花束(その45)」にまとめて発行する予定です。

以上

添付資料：①JX-ENEOS童話賞 作品募集要項概要

②JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENEOS童話基金について

(ご参考)

前 回(第44回JX-ENEOS 童話賞)の応募総数： 8,870編

前々回(第43回JX童話賞)の応募総数： 13,213編

JX-ENEOS童話賞 作品募集要項概要

1. 募集期間 : 2014年3月1日(土)~5月31日(土) ※当日消印有効
2. 募集内容 : (1)「心のふれあい」をテーマとした創作童話
(2)応募作品は未発表の完全なオリジナルな作品に限る
(3)必ず縦書きで400字詰め原稿用紙5枚以内(表紙を除く)
(4)ワープロ原稿は20字×20字のタテ書き
3. 応募資格 : アマチュア、個人応募に限る
4. 応募区分 : 一般の部・中学生の部・小学生以下の部 (2014年5月31日時点の学年に基づく)
5. 賞 : <一般の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞金100万円、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞金 30万円、記念品
佳作	5編	賞状、賞金 10万円、記念品
奨励賞	5編	賞状

<中学生の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞品(10万円相当の図書カード)、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品(5万円相当の図書カード)、記念品
佳作	2編	賞状、賞品(3万円相当の図書カード)、記念品
奨励賞	5編	賞状

<小学生以下の部>

最優秀賞	1編	賞状、賞品(10万円相当の図書カード)、記念品
優秀賞	2編	賞状、賞品(5万円相当の図書カード)、記念品
佳作	2編	賞状、賞品(3万円相当の図書カード)、記念品
奨励賞	5編	賞状
6. 発表 : 2014年10月中旬予定
最優秀賞、優秀賞、佳作および奨励賞を受賞された方々については、郵便による通知とホームページ上での発表をいたします。なお、落選された方には個別の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
7. 選考 : JX-ENEOS童話賞選考委員会 西本鶏介(児童文学者)、立原えりか(童話作家)、角野栄子(童話作家)、中井貴恵(女優・エッセイスト)、宮西達也(絵本作家)、薫くみこ(児童文学作家)

JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENEOS童話基金について

1. JXグループは、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方からオリジナルの創作童話を募集し、優秀作品を表彰のうえ、一冊の童話集「童話の花束」として発行しています。
2. この「童話の花束」は、ENEOSのサービスステーションを運営する特約店やLPガスの特約店、JXグループ各社、東京善意銀行などを通じて、全国の教育機関や社会福祉施設などに寄贈されています。また、心のケアに役立てていただくため、東日本大震災の被災地の子どもたちや高齢者の方々にも、これまで6万6千冊をお届けしています。
3. また、「童話の花束」は、特約店の皆様にお買い上げいただくほか、JXグループ各社やその役員・従業員も購入し、売上金は、すべて「JX-ENEOS童話基金」に組み入れられ、同基金から毎年、児童福祉の一助として社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、全社協）に寄付を行っています。2013年度は、3,500万円を寄付しました。
4. この寄付金は、全社協が設立した「JX-ENEOS奨学助成制度」により、全国の児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが、大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として活用されています。2012年度（2013年4月入学）は、368名の子どもたちが受給しました。
5. 加えて、昨年に引き続き東日本大震災の被災地の子どもたちの支援として、特に被害の大きかった岩手・宮城・福島3県の学校図書館を支援する「学校図書館げんきプロジェクト」^{*}に対して同基金から300万円を寄付しました。
※主催・・・活字文化推進会議、公益社団法人全国学校図書館協議会、公益財団法人文字・活字文化推進機構
6. なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、JXグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用されています。間伐などの森林整備により、木々の生育が健全となることから、国内の二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。JXグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

以上